

列車脱線・火災事故から2年 - 西日本防災システム

201303 24

2011年5月に発生した北海道占冠村のJR石勝線、特急列車の脱線火災事故から間もなく2年が経過しようとしています。JR北海道は事故を風化させまいと、焼損したスーパーおおぞら14号の車両を保存し社員研修などに活用することを決めたそうです。

JR北海道の小池明夫社長は「事故の激しさを感じることができる現物です。立ち会わなかった社員、新入社員に当時の状況を知らせたい。」と改めて安全確保に向けた決意を語ったそうです。

保存されるのは焼け焦げた全6車両のうち、先頭を走っていた6号車の一部です。同社の工場から札幌市内の社員研修センターに移設された車体は、茶色に変色し、窓ガラスも溶けたままの生々しい姿を今もとどめています。

これからも安全を最優先にお願いします！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

